

No. 127

全 友

7 / 42.

東京・世田谷の長円寺（智山派）



特 集 里から寺へ

— 連載対談 — お寺さんの理想像 (3)

語り手 在家仏教協会理事長 加藤辨三郎

里から寺へ

(三)

聞き手前白

既成仏教の教団と僧はいかにあるべきか——これについて在家篤信の諸賢の卒直なご指摘と苦言をいただいて、教界の反省研修の資にしたい。このような趣旨目的でこの「里から寺へ」を企画しました。私は全仏の広報業務をお手伝いしておりますが、根っからの在家の者でございませう。どうかご遠慮のないところを……。

聞き手 西本 悟 作

(全日本仏教会組織専門委員)

世の中には、ずいぶん篤信者も多いのですが、理事長のように、ひとつの組織まで設けて自他ともに信心に励むという熱心な人はなかなかないようです。

ご著書を拝見しますと、ご信心は中年からなのですが、なにか特別の動機というようなことがありましたのでしょうか。

加藤 私の信心のはじまりは、私がお仕えていた合同酒精の社長の野口喜一郎さん——いまこの方は合同酒精の相談役をされていてもう八十才ですがかくしやくたるものです。

この野口社長が非常に熱心なご門徒として、松原致遠先生、それからたまにいまの大阪府知事の左藤義詮先生もなん回か会社においでになりましたが、主にも松原致遠先生が、毎月定期的に会社にみえまして、私もなにがしかの時間をさいて説教を聞かされたわけです。

これを聞いていううちに——ずいぶん時間がかかったわけですが——なん年かお聞きしているうちに、仏教というものはすばらしいものだ、いままで自分が考えていたことは間違いであった、という

ふうによく気がついたわけですが。そこで初めて「求め心」とでも申しますか、自分から進んで仏法を聞こうという意欲が起きたわけです。そのとき私はすでに四十五、六才になっていて、協和化学興業の常務をやっていたころです。しかし、それでも念仏ということがよくわからない、念仏を唱えるということの意味もわからないし抵抗を感じる、恥かしいとか気おくれのようなものもあつた。念仏が唱えられるようになったのは五十才を過ぎてからです、このじぶんからはじめて念仏の境地を仄かに察することができるようになって貰ったわけです。——ちょうど信仰に心が動くお年に到達されて、ごく自然に信仰に入られたのでございますね。ところで郷里の出雲の大社あたりは仏教の信心のほうはいかがでございませうか。

加藤 大社にはありますけれど、仏教は仏教でけっこうやっております。大社は神社で祠り、家庭には仏壇というわけですね。——私はご高著の「光を仰いで」を拝見するまでは、理事長のこの深いご信心

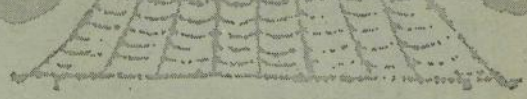
すべてが因縁

——ご生家が特別に信仰に熱心な家庭ではなかった、ごく普通の信心、世間並みの仏教徒ではあったが、やはり自然に信心の素地を身につけられていて、それが中年になられてから芽をふいた——ということでございますね。

加藤 そういうことなんです、もっと大きな第一番の縁は、日本に生れたということですね。日本に生れたということ、なによりも最大で、根底的なことだと思えます。そのあとのことは、いろいろの因縁になって信心が熟してきたわけですが、日本に生れたことがなんといつても一番の根本です。

——理事長のお考えは、一にも二にも、時間的因縁、空間的因縁ということに帰着するようでございますね。加藤 なにかにも因縁です。——そこで伺いますが、仏教の人間を

お寺さんの理想像



連載 在家対談 (3)

は併行して、やはり家庭の親なり、おじいさん、おばあさんなりが、もっと自然なあり方で導くということもあり得ると思います。

ですが、残念なことには、みんな日常の生活にかまけて忙しいものですから、なかなかこれが実行できない、結局、考えるだけ、ことばだけになってしまいうわけです。

ことに都会では、みんな親子別居の暮しが多いので、このことがうまくやれないのです。

私は幼少期からなるべく自然に親しませて、そのうちで自然の不思議さ、自然のありがたさ、尊さ、といったものがスムーズにわかるように教えたらいいと思いますね。

つまり、敬虔な心を持つということとを培うことですね。

加藤 拝がむ心——ですね。そうしたいと思います。私は忙しいので実行できないけれども、少し余裕があれば、これを自から試みたいものだと思っています。

これは私事ですが、孫の親から「おじいちゃん、子供がさきで仏教なりほかの宗教に親しめるような雰囲気をつくりたい、なにかひとつ、この考えにふさわしいものを書いてください」といってききました。これはだいたい前の話して、孫はまだ字が読めないころでしたが、三枚ほど色紙を書いてやりました。

自然環境と信心

別居生活でございますね。
加藤 私もアパートですが、子供や孫も別のアパートです。

そのとき考えましたが、月雪花、この三つを対象に、孫たちが成長するに従って、この月・雪・花を使いながら、仏教の教え、精神がかわるようにしてやろう……。

こう考えまして三枚の色紙に「まるい月、まるい心。白い雪、白い心。きれいな花、きれいな心」と書いてやったわけです。子供はすぐ覚えまして、これを唱えてからご飯をいただくのです。まあ、手を合わせることを教えているわけですね。

これが幼稚園から小学校と進むにつれて、手を合わせることをしなくなる、省略することもあるらしい、だが拝がむ心はすっかり身につけている。こんど小学校の二年になりました。こんどは孫自身から「おじいちゃん、あれは全部やったから、こんどはほかのことを書いて……」と要求されたわけです。

月・雪・花を題材にした仏教のことば、あるいは和歌、俳句にもいろいろありますが、小学校低学年にはどれがよからうかと、なかなか迷っています。

「松陰の黒きは月の光かな」これはいい句なんです、小学校二年には早すぎ

在家仏教協会

昭和三十七年七月、任意団体の「在家仏教協会」設立。同三十九年、文部省所管の社団法人に組織変更。いま会員数約四千人。主なる事業は月刊の機関誌「在家仏教」の発行、在家仏教講演会を東京、大阪、宇部、福岡、小樽の各会場で毎月開催、毎金曜日の「生活

るでしょう。それでいまなにを書こうかと思っているとこです。

月と雪と花と、日本の自然の三大象徴を使つてかならずいけると思っています。大学生ともなれば、月あり花ありで感銘するでしょう。ですから大学生向けのものはたくさん材料がありますが、その下の高校、中学、小学校になにかいいものを選んでやって、ひとつの情操教育にしたらと思つてるところです。

——仏教の信心と自然環境を結びつけるということは新しいご意見です。
加藤 私はぜひそれをやりたいと思つています。子供と一緒に山を歩るきながら、すべてのものに対して、不思議さと敬虔さを感じさせる……そういうことからやっていったらいいと思います。

ですから幼稚園もけっこうですが、私はその幼稚園は家屋がないほうがむしろいいと思います。雨天のときだけ屋根の下でやり、雨天でないときは、土手の上でもよし、芝生の上でもよし、どこでもよいから屋外で自然を教えながら、仏教のことを少しずつやるのがよい、仏教教育としては一番いいのではないでしょう

の講座）放送、巡回講演会と仏教経典講座を随時に、夏季講座を例年催してあるほか、仏教図書の刊行、仏教英語研究、仏教讃歌の普及、仏蹟をめぐる会など意欲的な事業をやっている。宗派や僧俗の区別なく、仏教を実生活のなかに生かすことがこの協会の性格。
所在地は東京都千代田区大手町二八日本ビル五四〇—二号室。

——これは珍らしいご意見を聞かせていただきました。

ちよつと趣きの違った話しになります。が、仏教とか信仰とかは観念の世界でございませぬ。ところが理事長のような科学者、エンジニアは理詰めの世界、この一見して背反の世界になにか相关性がございませぬか。信仰ということと科学というものの、これに共通点がございませぬか。

加藤 共通点はないでしょうけれども、科学と仏教は非常にぐあいのいいもので、そこになんにも矛盾点はありません。要するに、科学は神に宗教にそっくり包容されてしまいますね。ですから科学者にとって仏教は非常に入りにくい。

偉大な科学者であって、偉大なクリスチャンだということもあるべきです。しかし私自身にとっては仏教なればこそスラスラと入れたので、人間は神によって創造されたものである、というようなことをのっけから出されると、これはなかなか入れなかつたと思うのです。

仏教はまず人間がデンと出て、そしてその内観から出発していくわけですから、科学者であろうがなんであろうが、いつこうにんの矛盾もなく入れますね。

この意味で仏教は非常にありがたい宗教だと思えます。私自身が科学者であつてなんらそこに矛盾は感じません。

——日本人の徳義とか徳性は、永い歴史をもつ仏教によって培養された部分が多いと思えます。

そこで国民道義を作興するには、仏教の教えを充分に国民各層に滲透させ、それで国民を指導するというふうに進むのが近道でもあり、成果があがると思いま

すが。

加藤 それはまあそうですね。うが、これは私の好みみたいな言い方になるが……、つまり国民道義の作興はけっこうですが、私自身の気持からいくと、仏教徒は自分自身の道義というものが問題です。

私にしてみると、自分の道義を守るところから精一ばいで、よいことをしようと思ひながら悪いことばかりしている。そういうような意識にたっているわけです。したがって人さまに向つて、道義の作興はちよつと言えないのです。



加藤 辨三郎さん

略歴

明治三十二年出雲大社の近くの生れ。大正二年京大工学部卒、昭和十五年工学博士、同二十四年七月協和醸造社長。在家仏教協会の生みの親です。と理事長を続け育ての親でもある。ほかに経団連役員ほか業者団体、関係会社の役員を兼ねなかつた。加藤さんの思想の根底は、仏教の根本理念、すなわち因縁の道理である。人を責めず、差別のままの平等を深く認知した境地を説く人。

葬式屋に徹せよ

お寺さんというものは、精神界の公僕でなければならぬと言われています。これは重大な責任と使命を持っているのですが、現代の既成仏教の姿を理事長がご覧になって、どういう評価をなさいますか。

加藤 これは二つの面から見なければいけない。二つの面がごっちゃになっていいます。

私は、仏教そのものはなかなか盛んだと思つています。少しも退廃してはいない、

むしろまことに賑やかではないかと思ひます。だから愉快でならない。しかし寺院としては衰えたといひましようか、困つておられるということはいえらうと思ふのです。しかしこのことは仏教がすたるとか、ダメになつたといふのとは違ひます。

そこで寺院をどうするかということなんです。私は乱暴な言い方なんですけれども、寺院はもうハッキリ切り切りなさいと言ふのです。職業である、もう聖職とか指導者だとか精神作興機関だとかいふような、偉らうなことはいっさい言わないで、りっぱな職業として、われわれが職業奉仕を唱へること、寺院もまた職業奉仕ということ、りっぱな葬式を営み、社会的に重要な職業のひとつであるといふふうで徹せられたらいい。

そのかわり、これが自分の社会的使命だと思つて、いかげんな不誠実な葬式なんかしないで、ほんとうの葬儀執行者として荘厳な葬式をなさる。また法事もしかり。それにもう徹しられたらいいと思ひます。

それから、仏教の講義というものは必要なんであつて、だからそこにほんとうの宗教体験者、あるいは学僧とかいう人は別に存在の必要があつて、別の組織なりグループなりで仏教を盛りあげていっただらいいんであつて、寺院としては思い切つて、職業あるいは企業と考へていい。だから、むしろどんどん合併なら合併して合理化をして、もう思い切つてりっぱな葬儀執行者になられたらいいと思ひます。

(次号につづく)

昭和42年7月1日



右からグエンカオ・キ首相・中央タムチャウ師・左吉岡棟一師

ウエーサカ休戦の背景

吉岡棟一

(福島県仏教会 会長)

握めると思い、タムチャウ師一派の幹部と、全日本仏教徒の意志を代表する立場で、休戦問題を再三にわたって強硬な交渉を始めた。

初めのうちは、かなりの異論もあった。これはタム・チャウ師派は比較的、グエン・カオ・キー政権に近いところから、あまり無理をしたくないというおもわくがあったのかも知れない。

しかし、そのうち第三回目の交渉のときになると、ベトナム各地域の主もな幹部を招集したり、タム・チャウ師は当時のロッジ米大使に会って、休戦の可否を打診してくれるほどの熱意をみせた。

お別れのあいさつに訪れたとき、タム・チャウ師は、はっきりと「ウエサカ休戦はやりませ」と言明した。これは通訳を介しての会談であり、不明瞭な点もあり、また、タムチャウ師派のベトナムでの勢力を考えてみると、果たして休戦運動が起されるかどうか疑問に思ったままでは帰国した。

私が帰国したあと、三月十二日に化導院で拡大委員会をひらき「二十四時間のウエサカ休戦をす」との固い決意を、ベトナム政府と米軍に示して実現交渉を進め、三月十七日にはその了解を得たようである。

ベトナムの政情は南北ベトナムに分れ、さらにベトナムも介在するという複雑さである。だから休戦実施についていろいろの問題があったようである。

私は五月二十日再びベトナムを訪れた。これはチャウ派から、ウエサカ休戦はかならず実現するから、もう一度きてくれという招ねきによるのであった。

現地の新聞をみると、二十四時間休戦を大きく扱っている新聞もあるが、黙殺している新聞もある。チークワン派は三日間の断食をしていた。日本大使館に問合せみても成行きはさっぱり判らないという。

二十二日になって宣慰僧本部から報告によって、米軍は五月二十三日のウエサカ休戦をすることが明らかになった。私はほっとした想いであった。

こうして二十三日のサイゴン市は仏旗に飾られ、わずか一日ではあるが完全に休戦である。盛大なウエサカの祭典が行われた。ことしのウエサカ休戦は、全日本仏教会の提唱によって実現したとまでは、どこの新聞もとりあげなかったが、こうしたいきさつと背景があって休戦に成功したのである。

五月二十五日、私は首相官邸で、グエン・カオ・キー首相と会見した。首相は「私はウエサカ休戦の要望があったとき、まっ先に賛成した。私は仏教徒だからです。どうか日本の仏教徒のみならず、みんなよくお伝えください」と述べた。

統一仏教会の幹部は「明年は四十八時間休戦を実現したい」という。その約束を土産に私は五月二十六日に帰国した。

全仏の要請をうけ、ウエサカ休戦が可能かどうかを打診するため、二月二十五日ベトナムに渡った。

サイゴンにあること八日間。南ベトナム統一仏教会は、昨年五月、反政府運動に失敗してからのちは、二派に分裂している。

両派の幹部たちに会って休戦見とおしを打診してみたがどうもハッキリしない。グエンカオ・キ一政権にも近く、ベトナム仏教会の主流派と考えられる化導院長タムチャウ師と交渉することが、休戦運動の成否を判断するため確度の高い情報

初めての宗教法人実務研修会

文部省宗務課では、初めての試みとして、全国各都道府県ごとに、宗教法人実務研修会をひらく。つぎの実施要領に示しているように、とかく法人意識の少ない、そして会計に弱いお寺さんがたに、大いに勉強して貰って、お寺の運営に問題が起きぬようにするためである。くわしいことは各地方庁の主管課に問合せられたいとのことである。

趣旨 宗教法人および都道府県に対し、宗教法人運営上の実務について研修を行い、法人意識の徹底、事務能力の向上をはかり、もって宗教法人の管理運営

の適正化に資する。

開催地(四十二年度)

東北・北海道 (時期未定)

関東・甲信越 (" ")

東海 (" ")

近畿・中部 (七月四、五日大阪)

中国・四国 (時期未定)

九州 (八月二、三日熊本)

参加資格および人数

イ、開催地区内に主たる事務所を置く宗教法人の代表者または事務担当者とし、五〇人以上一〇〇人以内のこと。

ロ、都道府県宗教法人事務担当者は開

され日本にも、W・F・B地区センターとして世界仏教徒連盟日本支部(別称「W・F・B日本センター」とい、以下「この支部」という。)をおくことが認められた支部としての機構と運営を規程することを目的とする。

第二条 この支部の事務局を財団法人全日本仏教会(以下「全仏」という。)事務局総局におき、その事務は国際局が担当する。

第三条 この支部は、W・F・Bの目的を本旨とし、W・F・B本部と緊密に連絡し、加盟諸国と提携して仏陀のみ教えによって世界平和に寄与することを目的とする。

第四条 前条の目的を達成するため、次の事項をおこなう。

一、W・F・B大会への参加

二、日本および諸外国で開催されるW・F・B関係諸会議への参加

ハ、参加資格のうち宗教法人については包括、被包括、および単立は同一に扱う。

ニ、参加希望者のうち、宗教法人関係者は代表役員の推せんをうけて、氏名、法人名、職名そのほか必要な事項を記載した申込書を、各都道府県宗教法人事務主管課に、研修開始の一カ月前までに提出する。

研修内容

宗教法人の財務(経理) 宗教法人法と税法 宗教法人の運営・事業 宗教法人に関する行政事務 その他

ハ、報告するものとする。

第七条 支部長は、この支部を代表し業務を総覧する。

二、支部長が欠けたとき、または事故があったときは、あらかじめ指名された副支部長がその職務を代行する。

第八条 委員長はこの支部の業務を統轄する。

第九条 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたときまたは事故があったときには、あらかじめ指名された副委員長がその職務を代行する。

第十条 常任委員は、常任委員会を組織し、委員会が委任した事項および特に緊急を要する事項を処理する。

第十一条 委員は、委員会を組織し、この支部の業務を議決する。

二、委員会の議決事項は、全仏理事事に報告するものとする。

第十二条 役員の任期は、すべて全仏役員任期とし、学識経験者で就任したのももこれに準ずるものとする。

第十三条 この支部の経費は、全仏の拠出金およびその他の収入をもってあて

る。

二、経費の収入決算については、全仏監事の監査を経るものとする。

第十四条 この支部の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る。

第十五条 第四条第三項に関する内規は、別にこれを定める。

第十六条 この規定を変更するには、全仏常務理事会の議を経るものとする。

付 則

この規定は、昭和四十二年六月九日から施行する。

第一条 この規定は、一九五〇年六月世界仏教徒連盟(以下「W・F・B」という。)が結成

世界仏教徒連盟(W・F・B)の本部はタイ国に置かれ、支部は世界三十五ヶ国に設けられている。日本にも支部が置かれており、W・F・B・日本支部として世界仏教徒の交流その他いろいろ活動を続けてきた。これまでこの日本支部には規約がなく、全仏の組織がそのまま支部としての働きをしてきたのであるが、このたび全仏国際局で規程の原案を立案、さる六月九日の全仏常務理事会に付議、別掲の規程が決議された。

世界仏教徒連盟日本支部規程

第一条 この規定は、一九五〇年六月世界仏教徒連盟(以下「W・F・B」という。)が結成

運営準備委員会

第十五回全日本仏教徒大会 (岐阜)

第十五回全日本仏教徒大会(岐阜)の運営の方法を協議するための運営準備委員会は、六月二十八日午後二時から東京・築地本願寺特別室でひらかれた。出席メンバーは、総務、組織、政治、国際、文化各専門委員会の正副委員長と組織専門委員のうちの一部の委員で、つぎの諸師。

出席者 鈴木敏範、真溪義貫、美濃部薫

- 一、狩野獲麟、内山堯修、伊藤愔己、白川良純、熊野龍夫、西本梧作、船口暉子、岩本昭典、新美孝道、神野真一 権谷健

議題 議事運営委員の選出について。

議案審査委員選出について。第一、第二部会正副部会長選出について。特別部会委員選出について。大会宣言文起草委員選出について。議事運営規則について。議案審査について。

議事にさきだち、特に出席の福島県仏会長吉岡棟一師から最近のベトナム情勢、とくにウエナカカ戦が、全日本仏教会の要請が功を奏して実現した裏話などの報告があった。

座長に組織専門委の鈴木敏範委員長が推せんされ、それぞれの案件について熱心な討議があり、前記の大会委員の予選ほかの協議を終えて同四時散会した。

議事運営規則 (要旨)

この準備委員会に提案された、大会運営規則事務局案は、字句を一部修正したうえで要旨つきのとおり決った。

大会議事運営規則(要旨)
一、総会、各部会ともに時間を厳守のこと。

二、総会、各部会において発言を求めるときは挙手によること。発言許可をうけた者は、所属団体名、氏名を告げてのちに発言する、すべて部会長の指示に従う、正式の参加者外の発言は認めない。

三、総会、各部会とも静しゅくに、秩序正しくし、議長、部会長の指示に従わず、会場を混乱させるようなことがあったときは、退場を命じることがある。

四、議案の説明者が欠席したときは、その議案は廃案にする。また、説明者を変更するときは、議事運営委員に申出てその承認をうけなければならない。

五、部会でする提案理由の説明は一議題十分間以内とする。説明、質疑、討論、採決までの制限時間は、一議題三十分間以内。

六、総会議事の質疑の時間は一人五分間以内とする。

七、緊急に議案を提出しようとするときは、かならず文書により、所属団体名、氏名、および議案の要旨を、議事運営委員会に届出て、その承認をうけねばならない。

八、各部会への参加は、各人の希望によって自由であるが、ひとつの団体から多数参加者のあるときは、なるべくいろいろの部会へ分散して参加が望ましい。

九、この大会の参加者へ印刷物などを配布しようとするときは、事前に、全仏事務局か大会運営委員に届出て、その指示に従うこと。

議案審査

総会、部会に提出する議案は、例年のとおり広く公募することになるが、議案内容の基準、議案審査などとり扱いの方法などは、ちかく初顔合せをする議案審査委員会で協議して、決まりしだいに公表する。

仏婦大会の打合せ会

仏青大会とともに岐阜大会の前奏曲として九月十日岐阜県高山市飛騨スポーツセンターで行われる全日本仏婦人大会は、その後地元高山市をはじめ一市三郡の仏教会が中心になって意欲的に準備をすすめている。この大会運営のための打合せは七月十日午後一時から東本願寺高山別院において開かれる。全仏から柳組織部長、全日仏婦から山本杉理理事長、船口暉子事務局長が出席した。

仏青も

岐阜大会の一連行事として全日本仏教青年大会は十月七日午後一時から大垣市で、参加人員約三千人以上を目標に開かれることになっている。その運営打合せはさる六月十四日午後一時から大垣市見取町一丁目超誓寺会館で西濃一市五郡の仏教会の代表を中心に結成された大垣会場実行委員会(会長福島昭信師)の幹部はじめ岐阜大会実行委員長加納博司氏、仏青担当の稲川善友氏、全仏から柳組織部長、福井主事、全日本仏教

青年会国際担当の西村輝成氏が出席し、協議をかさねたあと、大垣市スポーツセンターをはじめ各会場を視察し基本的なことをきめた。

同大会には大谷光昭全日仏青会長、池の坊専永副会長をはじめ全国の仏青代表などが参加する、とくに十月上旬開催予定の世界仏教徒連盟青年部門の委員会に出席するタイ、韓国、シンガポール、南ベトナム、インドの仏青代表も出席、近來にない国際色豊かな大会が予想されている。また記念行事として記念論文の募集、記念植樹、池の坊華道展、全日本仏青書道展、パレードなどが予定されている。

暑中お見舞申し上げます

日本一の支店網で会費等の
振込にご利用下さい

全日本仏教会取引銀行

協和銀行

彙報

★全仏常務理事会

全仏常務理事会は六月九日午前十一時から東京築地「サボイ」でひらかれた。出席者は、下川、松村、来馬、松本の各常務理事は本人出席、代理は六人、各宗務機関から出席した。豊原理事長が欠席のため、指名された下川常務理事が議長になり、議事録署名委員に來馬道断、松村寿頭の両師を指名して議事に入り。

議案第一号 日本万国博覧会対策については近く豊原理事長がカナダ、モントリオール万国博覧会を視察するので、帰国後あらためて審議することになった。

議案第二号 職員任用については国際局主事鎌田良昭師の退

職により、真柄信雄師を書記に任用し、国際局に配属することを議決した。

議案第三号 WFB日本支部規程案について審議し、別項の規程を議決した。

なお組織局から、第十五回仏教徒大会開催要項について、国際局からWFB仏教高等教育者会議調査団の来日について説明報告があり、それぞれ了承され、午後一時半閉会した。

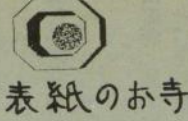
★ブロック会議拡大

文部省は全国を五つのブロックに分けて宗教法人の実務研修会を本年度から実施することになり、これを機に全日本仏教会では、各都道府県仏教会との連絡を密にし、全一仏教運動を積極的に推進するため地方ブロック会議をこれまでよりいっそう拡大強化する。その手はじめに七月四日午後五時から大阪難波

別院で、近畿・北陸ブロック会議を、七月六日午前十時から高田派本山専修寺において東海ブロック会議を開催した。

★仏教文化会議

昭和四十二年度の仏教文化会議の第一回は仏教文化京都会議として六月十七日(土)京都大学、楽友会館で午後一時からひらき、各大学教授及び各宗派代表約五十人の参集を得て、「近代ヒューマンニズムの特質」と題した京大教授、井上智勇氏の一時間にわたる講演を開き、続いて本年度の仏教文化会議のテーマである「仏教とヒューマンニズム」の問題で井上教授の講演を加味したシンポジウムに入り、ヒューマンニズムの歴史的段階からその発達課程を辿り近代ヒューマンニズムに到り人間主義と快楽主義の両面で発達したその過程、特に現代日本におけるヒューマンニズムの特質としては宗教教育の不足勝ちな特異な発展をしている、という点にポイントを得た活発な討議をした。



寺のお紙表

岡本山(こうほんざん)ん無量心院長円寺。真言宗智山派。鎌倉期以前の創建といわれ、昔

寺の往古の規模をしのばせるよう。新しい建築様式、明るい本堂、これは前任職の阿部竜伝大僧正(現全仏常務理事)が寺檀一体で新しい仏教に進むための心構えを示しているもの。

は七堂伽藍を具えていたものらしい。この本堂は昭和四十一年の落慶で、世田谷区砦公園に近い高台に、大風の翼をひろげたように、雄大で美しい姿。

スケールの大きさは、この

とりわけ、利根山光人画伯制作の正面大曼を羅は異色のあてきばえ。旧院号は安養院、前住職を中興開基として、阿部電文師が現に住職。

の遷化に伴い、住職として寺務に専念するため五月三十一日願いに依り退職した。鎌田師は全仏の法人設立前から十三年間勤務、海外に旅すること六回、国際局のベテランであった。後任は、真柄信雄が六月一日国際局付書記に任用されたが、真柄書記はビルマに三年遊学の経歴があり、本願寺派善林寺住職である。

沖繩戦の追悼会

沖繩戦終結の日にあたる六月二十二日午後一時から東京都台東区西浅草東京本願寺で第二十三回の沖繩戦没者追悼会が、沖繩県人会、日本青年団協議会主催、全日本仏教会、南方同胞援護会ほか関係団体後援のもとに行われた。

内閣総理大臣、衆参両院議長、厚生省、日本遺族会、全仏などからの生花が内陣いっぱいにかざられ、祖国防衛のみ楯となった軍民間人二十万余の霊を弔うにふさわしい雰囲気につつまれ、東京本願寺輪番末広愛邦師導師のもと、一山の僧侶総出仕、同寺経営の美容学校聖歌隊の奉仕で音楽法要が荘厳に進み、五百余人の参列者一同は涙とともに当時を想ひ、祖国復帰の誓いを新たにされた。

ついで大谷ホールで沖繩戦をしのぶ会にうつり、和洋女子大学教授で、元健児隊員であった外間守善氏の「沖繩戦を考

る」の講演、沖繩記録映画「祖国への道」が上映された。

宗派・県仏人事

- 高野山真言宗 管長 堀田真快
- 茨城県仏教会 会長 川田聖見
- 副会長 穴戸泰爾
- 副会長 井上信栄
- 副会長 秋元義雄
- 副会長 奥野善雄
- 副会長 池田泰俊
- 事務局長 小原泰寿

花辨智勝大僧正(真言宗御室派 管長・仁和寺門跡)

さる六月五日午前四時四十三分遷化。七月八日、仁和寺金堂で宗葬が行なわれた。

タイの調査団来日

第八回世界仏教徒会議(昨年十一月、タイ国チェンマイ)で決議された世界仏教高等教育会議が、明年の第九回世界会議のりに開催される見通しになったので、その下調査のため六月二十五日、タイ国宗教省プラサン・トングバディ氏を団長とし、タイ国立大学より派遣された僧三人、セイロン国立大学教授L・G・ヘワジ氏の五人が来日。

全仏ではこの一行を、東京では、駒沢大正立正東洋の四大学、京都では、龍谷・大谷・種智院・仏教・花園京都女子の六大学へ案内した。

神奈川県仏の総会

神奈川県仏教会の第二十二次定期総会は、同県寺院教会相互援助組合の総会をかねて、さる六月十九日川崎大師平間寺でひらかれた。四十一年決算、四十二年度予算案の承認可決などのほか財団法人神奈川県仏教慈善徳会の現況報告、教化財団の経過報告もあわせて行われた。会員篤行者の表彰、記念講演「私の仏教概論」増谷文雄文博——もあつた。

安倍竜 殿(同)
曹洞宗崇徳院
米山 祖 祐(湯ヶ原)

単立妙真寺
石 渡 俊 宏(横須賀)

日蓮宗妙伝寺
長 岳 要 禎(厚木)

真言宗証菩提寺
一 守 靈 真(横浜)

曹洞宗大応寺
水 島 利 恭(二ノ宮)

大谷派徳泉寺



あちらこちらの 仏教会

このたび表彰された諸師は、
ぎのとおりである。(敬称略)

建長寺派太寧寺

亀岡 一 正(横浜)

浄土宗相福寺

杉田 義 俊(葉山)

真言宗三會寺

安 藤 仁 雲(横浜)

同東寺派花蔵院

藤 井 良 恭(山北町)

田覚寺派珠明寺

橋 川 玄 涌(怒田)

曹洞宗寿昌寺

大 井 諦 玄(小田原)

浄土宗安楽寺

岩 崎 孝(川崎)

智山派安養寺

横 田 隆 教(同)

天台宗寿永寺

莊 司 高 雄(同)

教化財団の創設

神奈川県仏が創設しようとする
教化財団は出資の総額を一億
円以上とし、全県下の僧俗一体
の浄財を募り、文書伝道、講演
布教、青少年育成、仏教センタ
ー建設などがその主なる目的で
ある。役員がすでに約一千万円
を醸出済みである。勸募対象は

役員のほかは地域仏教会、財
界、在家実力者など。各寺の募
財目あては横浜市内十万円、川
崎、横須賀七万円、そのほかの
都市五万円、農村三万円のおお
この額以上となつてゐる。

援助組合の現況

援助組合は、神奈川県下の寺
院教会相互の共済親睦をはか
り、組合員が災害にかかったと
き、これを財的に援助するもの
である。昭和四十年から加入者

倍加運動を強く展開した結果、
組合が発足して十年を経て、目
標額に達する基金を蓄積した。
こんごは風水害や住職寺院など
の人身補償にまで援助を拡大す
る方針。本年五月末現在の状況
つぎのとおり。

- 加入寺院教会八四四加入口
数四一八二口 加入金(元
金)一〇、三二〇、〇〇〇
円 利子三、〇六三、六八
一元 合利合計蓄積金一
三、三八三、六八一円

名古屋のウエサカ祭

愛知県ウエサカ鎮仰会と愛知
県仏教会共催の「ウエサカ祭」
と「愛知県中央仏教徒大会」は
さる五月二十三日、名古屋市の
三会場に分かれて行われた。

ウエサカ鎮仰歌 愛知学院曹洞
宗尼学林
聖 歌 隊
閉会の辞 愛知中学校教頭
鶴 飼 俊 雄
第二部 式典・愛知県中央仏教
徒大会
名古屋市公会堂(後一時)
司会 精園俊介・村瀬良彦
(A) 式典
式主 愛知県ウエサカ鎮仰会長
増上寺法主
椎 尾 弁 匡
合唱 愛知学院聖歌隊・東海学
園混声合唱団
閉会の辞 愛知県仏教会理事長
木 村 正 範
献花・献香・三帰・依文・懺
悔
祭文 愛知県ウエサカ鎮仰会副
会長・東海学園女子短大

副学長 林 靈 法
焼香 愛知県ウエサカ鎮仰会長
挨拶 椎尾 弁 匡
愛知県仏教会長 竹田 鉄 仙
祝辞 愛知県知事 桑 原 幹 根
名古屋市長 杉 戸 清
ウエサカ鎮仰歌 藤 井 智 海
閉会の辞 同朋高等学校長
(B) 講演と映画
講演 東海学園女子短大副学長 林 靈 法
映画
第三部ウエサカ聖餐の集い
公会堂ホール(後三時半)
入場 三帰依文 四弘誓願
あいさつ(愛知県ウエサカ鎮仰
会長椎尾弁匡) 聖餐開会の辞
(立花高等学校校長鈴木宗音)
懇談 閉会の辞(名古屋市仏教
会副会長竹村賢祐)
大会趣意(要旨) 昨年六月、第
十四回全日本仏教徒会議愛知大
会を開催し、

祝辞 高 階 瑞 仙
法話(ウエサカ祭りを讃えて)
高 階 瑞 仙
祭文 覚王山日泰寺
水 谷 教 章
三帰礼文 曹洞宗管長本会名誉
會長
高 階 瑞 仙
祝辞 高 階 瑞 仙
祭文 愛知県ウエサカ鎮仰会副
会長・東海学園女子短大

このたびの愛知大会は、その
質において、そのスケールに
おいて、前古未曾有、全く驚
異的な盛会であったのであり
ます。

という感謝決議をわれわれは
いただきました。そして私たち
は全仏を介して広く全日本の仏
教徒につきのように呼びかけま

した。

①全仏大会には一人でも多く参加し、仏徳讃仰の会をもちましよう。

②六千万の檀信徒を糾合し得る組織を作りましよう。

③檀信徒とともに、社会教化活動の方策基盤をうちたて、前進しましよう。

昨年の大会の感激をそのままに、本年は例年よりさらに盛大なウエサカ祝典の諸行事を催

交通安全運動

長野 県仏

長野県仏は、仏教精神に基づく交通安全運動を提唱、これを全国仏教徒の運動にまで押しすすめることになった。

四十二年十一月二十八日、長野県諏訪市の教念寺で、諏訪仏教会（会長篠崎大仙師）と総代会（会長三井周一郎氏）共催の交通安全死者慰霊、交通安全祈願の両法要が行われ、遺族の感銘、交通関係者の関心を集めた。この心願を全国に拡げようということになり、まず県仏会長半田孝海師に市仏から決議書と要望書が出され、県仏はさる本年三月十七日の理事会に付議し、満場一致で市仏

し、前述の決意をより固くし、これを強く宣明するものであります。

県下の若い学徒と寺院と、檀信徒が一堂に会して、毎年この大会を続行するならば、必ずや強固な教団の組織となり、その力によって活発な社会教化の実動が進められ、仏教王国愛知のゆるぎなき法燈は、一段と輝やきを増すことを確信いたします。

の要望を採択、県仏に交通安全特別推進委員会を設けて運動の推進方法を同委員会に付託した。

さらにさる五月十二、十三日日光でひらかれた全仏の関東甲信越に静岡を加えたブロック会議にこれを提議した。これからの段どりは、きたる九月十日諏訪市でひらかれる第十四回長野県仏教徒会議に、さらに十月の全日本仏教徒大会（岐阜）に提案することになっている。長野県仏が主唱する趣旨要点はつぎのとおり。

教の信条によって達成したい。そのために四E運動をひろげたい。

全日仏婦が法人に

全日本仏教婦人連盟（会長大谷智子裏方）は、かねて文部大臣に、社団法人設立許可を申請していたがさる六月十三日付で設立許可指令があった。

これから法人としての活動にとりかかる。さしあたり事務局はこれまで任意団体のときと同じく、東京都世田谷区松上水四一九一七（電話（三〇二）一五九八）。

役員は会長に大谷智子裏方、副会長一条智光上人、理事長山本スギ参院議員、常勤役員未定で理事十六人、監事二人。

近畿・北陸ブロック会議

近畿北陸地方合同ブロック会議は、七月四日、五日両日の文部省の宗教学実務研修会を機に、七月四日午後五時から大阪難波別院でひらかれた。

大阪、京都、滋賀、兵庫、奈良、和歌山、石川、愛知、岐阜の各府県仏会長など代表者二十二人が出席した。

協議は、大阪府仏会長間野敬重師が議長になって進められたが、決ったことからのうち主なものは

- ①それぞれの地域仏教会を強化せねばならぬ。
- ②地方仏教会の振興をはかる

には、まず全仏を盛りあげ、中央地方打って一丸となって活動する。

との結論になった。岐阜県仏からはきたる十月の全日本仏教徒大会への協力要請があり、各代表者とも、たくさん参加者を送ることを約束した。全仏からは黒田事務総長ほか管理局部長が出席した。

東海ブロック会議

東海地方ブロック会議は、七月六日午前十時から三重県津市の真宗高田派本山でひらかれた。地元の三重、愛知、岐阜の三県から僧俗あわせて一八〇人が出席、高田派法主常盤井堯棋三重県仏会長の議長でいろいろと協議した。この会合を「東海三県ブロック大会」ということにして、午前中は出席者全体会議、午後から各県代表者会議ということになった。

これまでに三重県仏の動きはあまり活発でなかった、今後はこの三県の広域ブロックを設け、教化事業ははじめすべての行事、さらに寺院の共済制度にいたるまで同一歩調でやりたい。ここに気分を一新して大いに活動するが、その活動は全面的に僧俗一体でありたい。それをこのブロック活動の特色にしたいと決った。また三重県仏の機能刷新の手はじめに、全日本仏教徒大会には県下から五〇〇人以上が出席することになった。



赤インキ

全仏事務局の陣容の充足がすんで、各局ともに、それぞれの事業計画にもとずいて、活発に動いている。

笠原一男博士の連載対談は既成教団に対する頂門の一針とあって、好評と反響が大きかった。この対談をあつて単行本にして広く全国の桑門に頒けて欲しいという要望がある。実現したいものである。

この号とつぎの号は、在家仏教協会の理事長加藤辨三郎工博との対談、科学者であり、財界有力者である加藤社長、きわめて実際のなご意見、仏教界に対する評価や苦言は、己れを空しうして傾聴すべきものであると思う。加藤さんが、きわめて忙しい時間を割愛していただいたことは感謝にたえない。

梅雨あけ、三伏の暑熱たる、心頭を滅却して涼しく暮らすべきだが、みなさんのご自愛を切に祈ります。

(ヤナギ)

SNAIL すねい 教杖 センター	布教用の素材 なら なんでも…… ご一報 おね下さい
	スライド 版 転写機 など 各種制作

下京・花園町
池小路角
4541 (37)

昭和41年度 (41・4・1—42・3・31) 収支決算書

財団法人全日本仏教会

歳 入 17,823,000円 歳入予算額
16,736,799円 歳入決算額

歳 出 17,823,000円 歳出予算額
16,709,839円 歳出決算額

歳

入

款	項	目	予算額	決算額
負担金	各宗派負担金 各団体負担金		16,328,000	15,746,600
			14,618,000	14,117,500
			1,710,000	1,629,100
寄附金		1,300,000	584,140	

未納徴収金		50,000	139,500
基金果実		35,000	39,212
雑収入		100,000	199,467
引継金		10,000	27,880
合 計		17,823,000	16,736,799

歳

出

款	項	目	予算額	決算額		
事務総局費	人件費		10,100,000	9,832,727		
		職員俸給	3,990,000	3,983,000		
		諸給	1,590,000	1,516,255		
		厚生費	350,000	368,602		
		退職積立金	200,000	200,000		
		事務費	借館借室費	600,000	600,000	
			通信費	350,000	734,675	
			消耗費	100,000	64,315	
			光熱費	20,000	5,950	
			備品費	150,000	67,500	
			印刷費	200,000	198,420	
			諸雑費	50,000	33,438	
			旅費	旅費	1,100,000	1,109,572
				旅費	1,100,000	1,109,572
			関西事務局費	関西事務局費	900,000	900,000
		関西事務局費		900,000	900,000	
		総務局費	会議費		2,532,000	2,089,757
				理事会費	272,000	60,000
				評議員会費	110,000	41,000
				各種委員会費	300,000	245,492
会議費	500,000			416,672		
共通事項処分費	300,000			315,070		
共通事項処分費	300,000			315,070		
調査研究費	300,000			267,885		
調査研究費	300,000			267,885		
渉外費	750,000			743,638		
渉外費	750,000			743,638		

組織局費		2,540,000	2,561,671
		1,270,000	1,243,838
	組織強化費	670,000	646,163
	国内仏教徒会議	600,000	587,675
	時局対策処理費	550,000	538,560
	時局対策処理費	550,000	538,560
	弘報費	720,000	734,273
	機関紙発行費	600,000	633,153
	宣伝報道費	120,000	101,120
文化局費	文化会議費	1,400,000	1,295,554
	教化費	400,000	440,790
	講習会費	1,000,000	854,764
	教会諸費	200,000	197,957
	資料作成費	600,000	481,967
		200,000	174,840
国際運動費	国際局費	1,060,000	948,700
	国際局費	1,060,000	948,700
	世界仏教徒文化交流費	160,000	109,334
	国際仏教運動費	400,000	385,856
	国際渉外費	500,000	453,510
雑費	雑費	64,000	26,430
	雑費	64,000	26,430
	雑費	64,000	26,430
予備費	予備費	127,000	0
	予備費	127,000	0
	予備費	127,000	0
合 計		17,823,000	16,709,839

暑中お見舞申しあげます



昔も今も
京 仏 壇
新時代の
合 掌 壇
実用的な
唐木仏壇

朝に礼拝



夕に感謝

株式
会社

若林佛具製作所

京都市下京区七条通新町東入 (駐車場完備)
電話京都 (075) 37-3131-6・8747-8・0124
営業時間毎日午前8時~午後6時・年中無休

暑中お見舞申しあげます



伝統と創作・京仏壇仏具

小 塚

京都店 下京区烏丸通東本願寺前 電(37) 2195(代)
東京店 台東区西浅草1丁目65 電(843) 6961(代)

暑中御伺

石川真珠店

石川伸二郎

逗子市逗子七丁目1-9
TEL 0468 (71) 6231

おしゃかさま

→仏教掛図シリーズ誕生! 企画・仏教教材研究委員会

仏教系の幼稚園・保育所の教材としては勿論、仏教寺院の年中行事・日曜学校こども会などでもご活用下さい。

1. はなまつり—既刊—
2. じょうどう
3. ねはん

わたしたち団体 → 全日本仏教会
は推薦します 日本仏教保育協会
全日本青少年教化協議会

A 全判/13枚/多色刷/2,500円

ひかりのくに昭和出版株式会社

大 阪 南区上本町3-12 大 阪 (768) 1151~7
東 京 新宿区神楽坂1-6 東 京 (260) 8184~7